

福祉・協働・ 男女共同参画

第8部

第1章 福祉

- 146 社会福祉施設数
- 147 生活保護
- 148 障害者手帳所持者数
- 149 障害者支援サービスに関する満足度
- 150 障害者の雇用
- 151 老人福祉施設数(入所)
- 152 介護保険給付状況
- 153 要介護・要支援認定者数
- 154 居宅サービス利用比率
- 155 介護サービスに関する満足度
- 156 児童虐待相談件数
- 157 児童虐待の種類別・年齢別割合
- 158 保育所等定員数・利用児童数および待機児童数
- 159 放課後児童クラブのクラブ数および登録児童数



第2章 協働

- 160 NPO法人の認証数
- 161 ボランティア活動の行動者率



第3章 男女共同参画

- 162 男女の家事関連従事時間の推移
- 163 男女の仕事時間の推移
- 164 女性の管理的職業従事者の割合



社会福祉施設

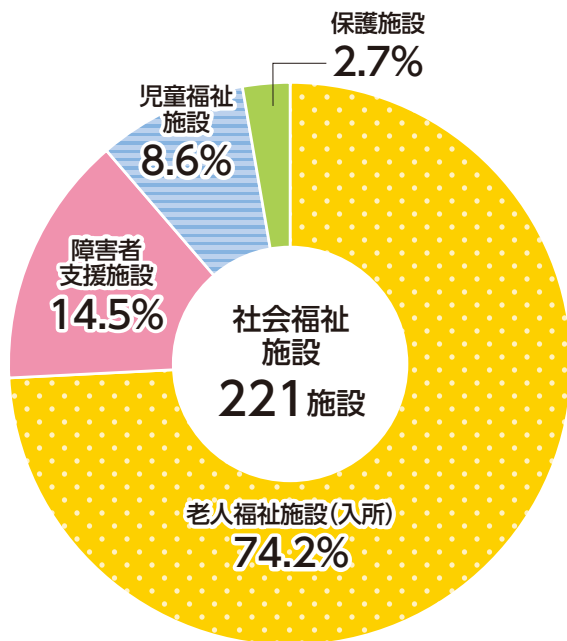
第一種社会福祉施設事業である社会福祉施設数は、老人福祉施設(入所)と障害者支援施設で約9割を占める

第一種社会福祉施設である社会福祉施設を種類別にみると老人福祉施設(入所)が164施設で最も多く、全体の約7割を占めています。次いで障害者支援施設が32施設で14.5%を占め、この2施設で全体の88.7%を占めています。

平成31年4月1日現在の第一種社会福祉施設である社会福祉施設は221施設で、種類別にみると、老人福祉施設164施設、障害者支援施設32施設、児童福祉施設19施設、保護施設6施設となっています。

社会福祉施設(平成31年)

資料:県地域福祉課、県障害福祉課、県介護保険課、県こども家庭課





生活保護

月平均生活保護被保護人員は、1.8%減少

平成30年度の月平均生活保護被保護人員は2万159人で、前年度と比べて379人(1.8%)減少し、人口千人当たりの保護率は15.1となっています。

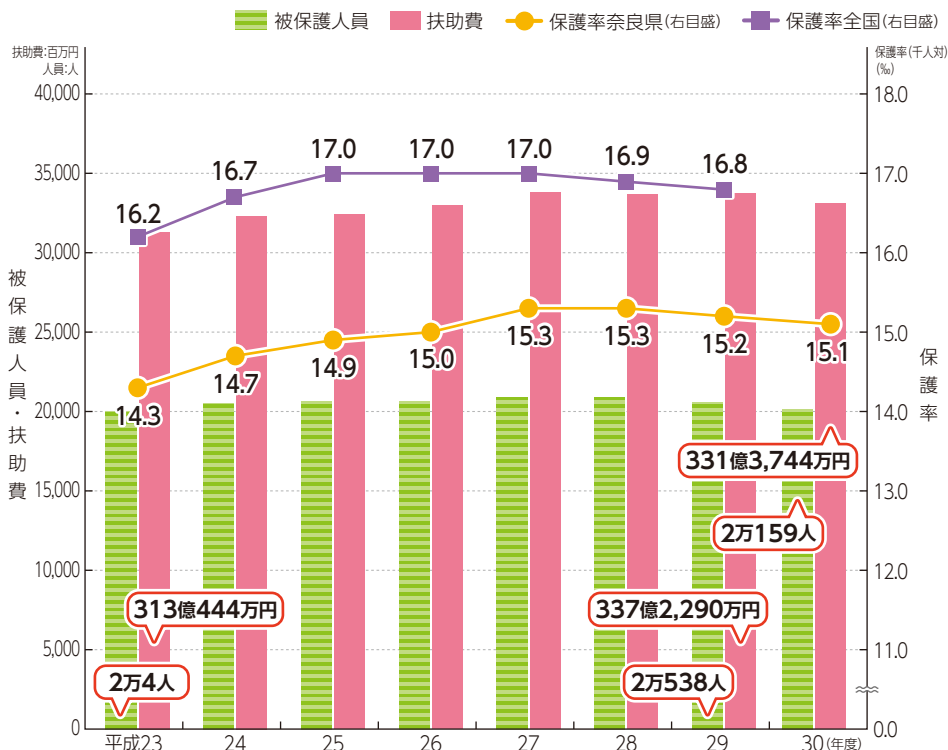
平成30年度における扶助費支出総額は331億3,744万円で、前年度と比べて5億8,546万円(1.74%)減少しました。扶助費を費目別にみると、医療扶助が171億4,454万円で最も多く、51.7%を占めています。

平成23年度と比べると、月平均生活保護被保護人員は2万4人から2万159人と0.8%増加、扶助費支出総額は313億444万円から331億3,744万円と5.9%増加し、人口千人当たりの保護率は14.3から15.1と0.8ポイント増加しています。

平成29年度の人口千人当たりの保護率の全国平均は16.8で奈良県より高く、全国平均の方が高い状況が続いています。

生活保護費の動向と保護率の推移

資料:県地域福祉課





障害者手帳所持者数

障害者手帳所持者数は、前年度に比べ1,793人増加

平成30年度における障害者手帳所持者数は、8万8,119人で、そのうち身体障害者が6万4,424人で73.1%となっています。

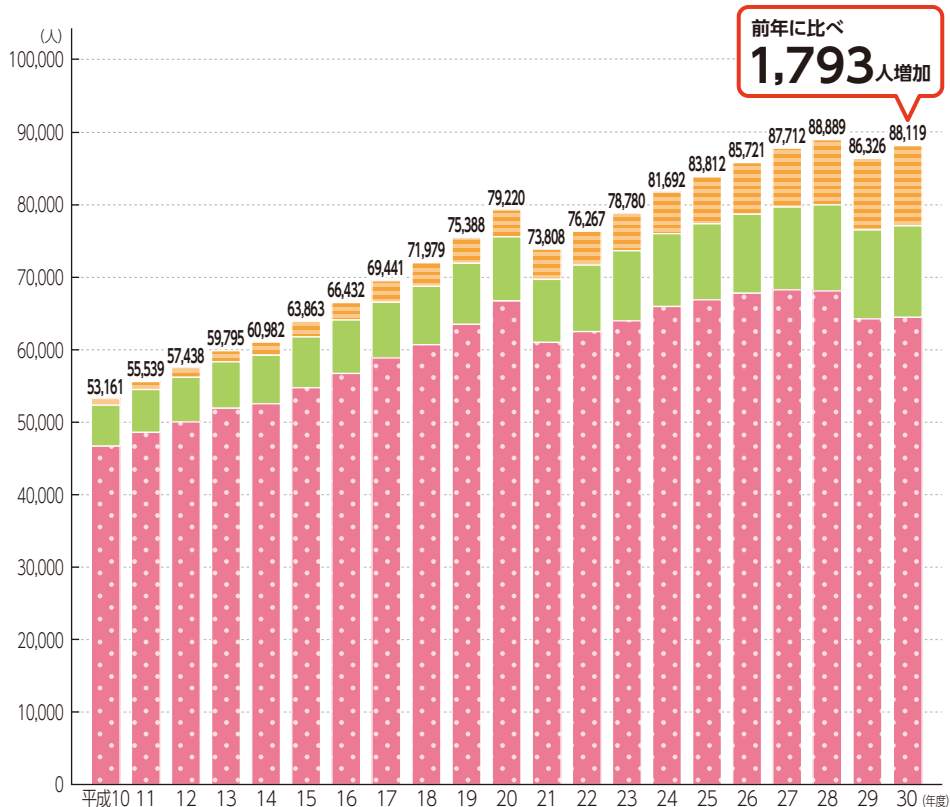
平成30年度の障害者手帳所持者数は8万8,119人で、そのうち身体障害者が6万4,424人で73.1%を占めています。知的障害者が1万2,646人で14.4%、精神障害者が11,049人で12.5%となっています。

平成10年度に比べて、全体が1.7倍増、身体障害者が1.4倍増、知的障害者は2.2倍増、精神障害者については12.7倍増となっています。

障害者手帳所持者数の推移

資料:県障害福祉課、県精神保健福祉センター

■ 身体障害 ■ 知的障害 ■ 精神障害





障害者支援サービスに関する満足度

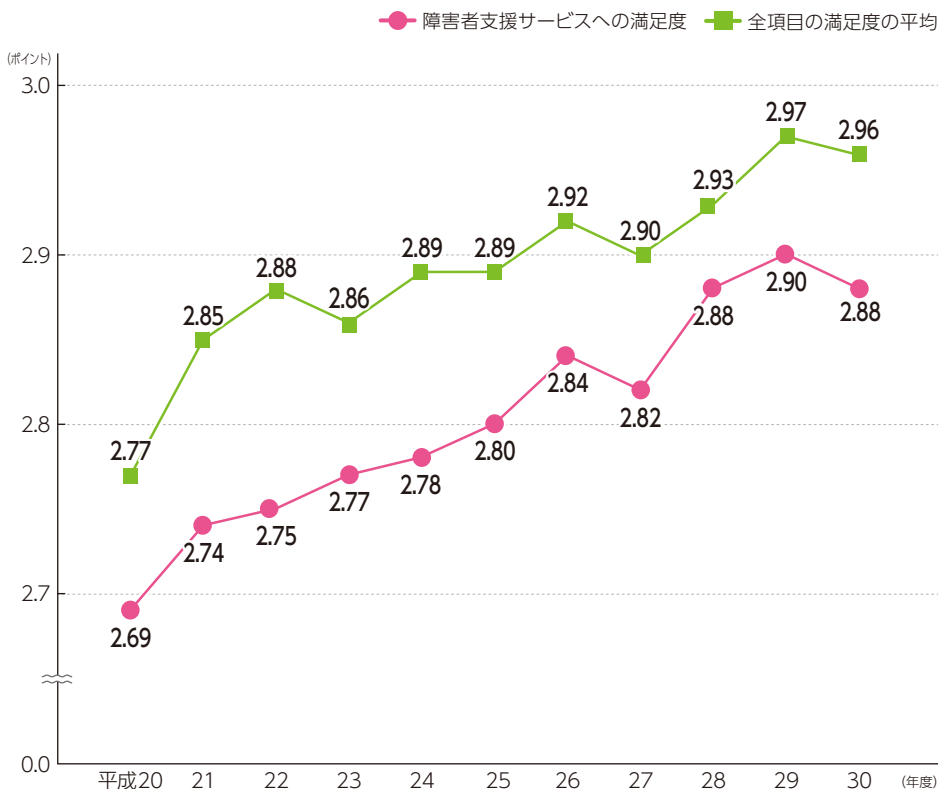
障害者支援サービスに関する満足度は2.88と前年度より減少し、全項目の満足度の平均を下回る

平成30年度県民アンケート調査によると、障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられることに関して、満足度が2.88で、全項目の満足度の平均の2.96を0.08下回っています。平成20年度の2.69と比べると0.19増加となっています。

- **満足度**…生活に関する各項目についてそれぞれに次の点数を与え、平均をとった値
 ・十分満たされている(5点) ・かなり満たされている(4点) ・どちらともいえない(3点)
 ・あまり満たされていない(2点) ・ほとんど満たされていない(1点)
- **全項目の満足度の平均**…障害者支援サービスを含め、県民アンケートの全ての質問項目の満足度を平均した値

障害者支援サービスへの満足度

資料:県統計分析課「県民アンケート調査報告書」





障害者の雇用

**障害者の雇用は、2,449.5人が就業し、
前年に比べ156.0人増加
民間企業における実雇用率は2.67%で、
前年より0.05ポイント上昇**

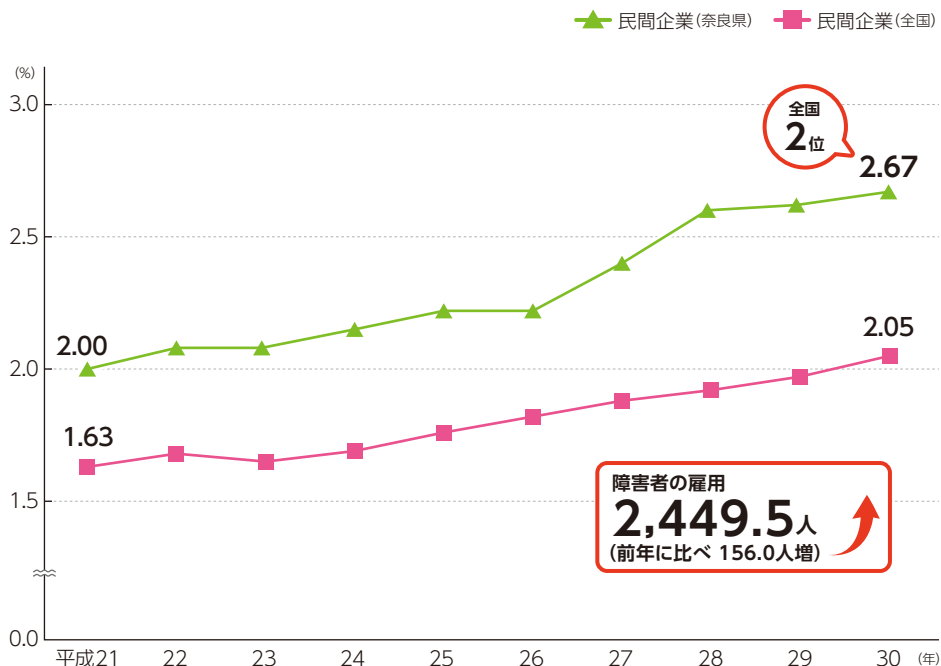
平成30年の県内民間企業（45.5人以上の企業）に雇用されている障害者の数は2,449.5人で、前年に比べ156.0人増加しました。雇用者のうち、身体障害者は1,328.5人、知的障害者は829.5人、精神障害者は291.5人となっています。

平成30年6月1日現在の民間企業における実雇用率は2.67%で前年に比べ0.05ポイント上昇し、全国平均の2.05%を0.62ポイント上回り、全国第2位となりました。平成21年と比べると2.00%から0.67ポイント上昇しています。

※短時間労働者については、原則0.5人分とカウントされます。

障害者の雇用状況の推移

資料：厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」
奈良労働局「奈良県の障害者の雇用状況について」





老人福祉施設数(入所)

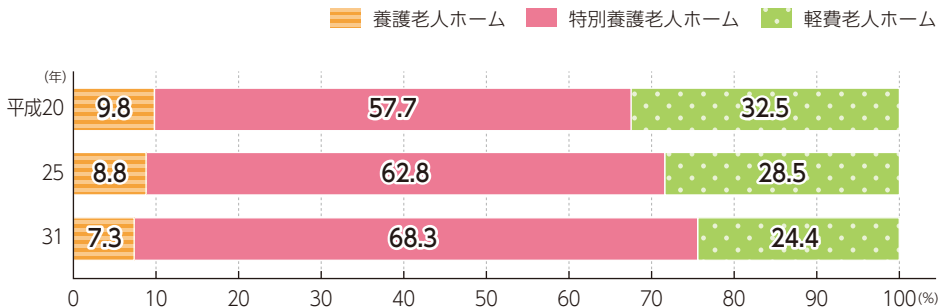
老人福祉施設(入所) 164施設 定員9,795人

社会福祉施設のうち老人福祉施設(入所)に分類されるものは164施設で、老人福祉施設(入所)の定員は9,795人となっています。

平成31年4月1日現在の老人福祉施設(入所)は164施設で、養護老人ホーム12施設、特別養護老人ホーム112施設、軽費老人ホーム(A型・ケアハウス)40施設となっています。

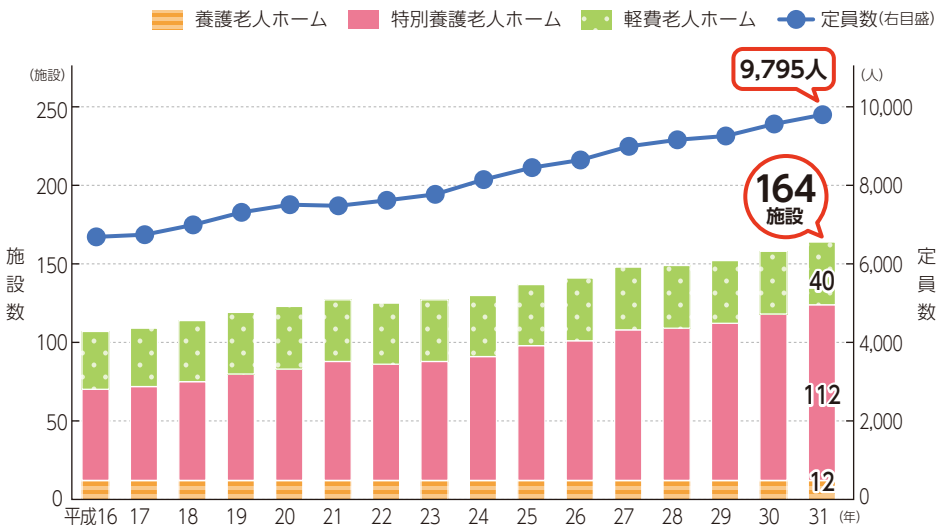
老人福祉施設数(入所)の割合

資料:県介護保険課



老人福祉施設数(入所)の推移

資料:県介護保険課





介護保険給付状況

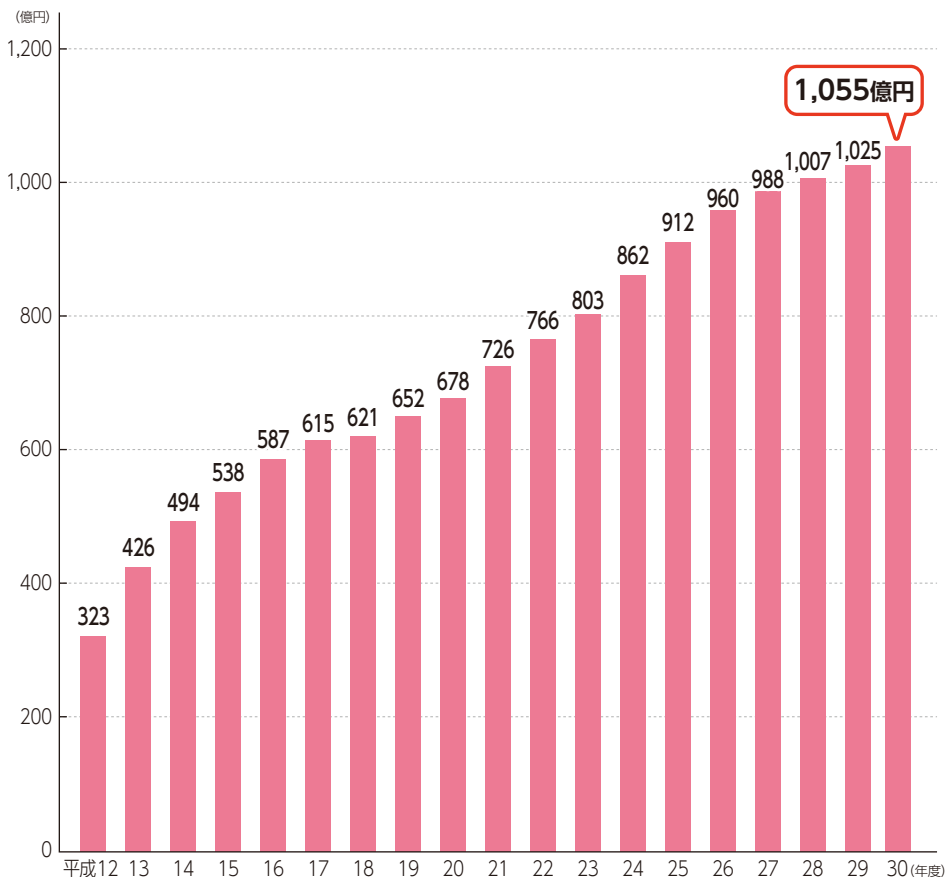
介護保険給付費は1,055億円で、前年度より2.9%増加

平成30年度の介護保険給付費総額は1,055億円で、平成29年度と比較して30億円、2.9%増加しました。

平成30年度の介護保険給付費総額は1,055億円で平成29年度の1,025億円から30億円、2.9%の増加となっています。また、介護保険が始まった平成12年度と比べると、323億円から732億円増加し、約3.3倍となっています。

介護保険給付状況の推移

資料:県介護保険課「介護保険の施行状況」





要介護・要支援認定者数

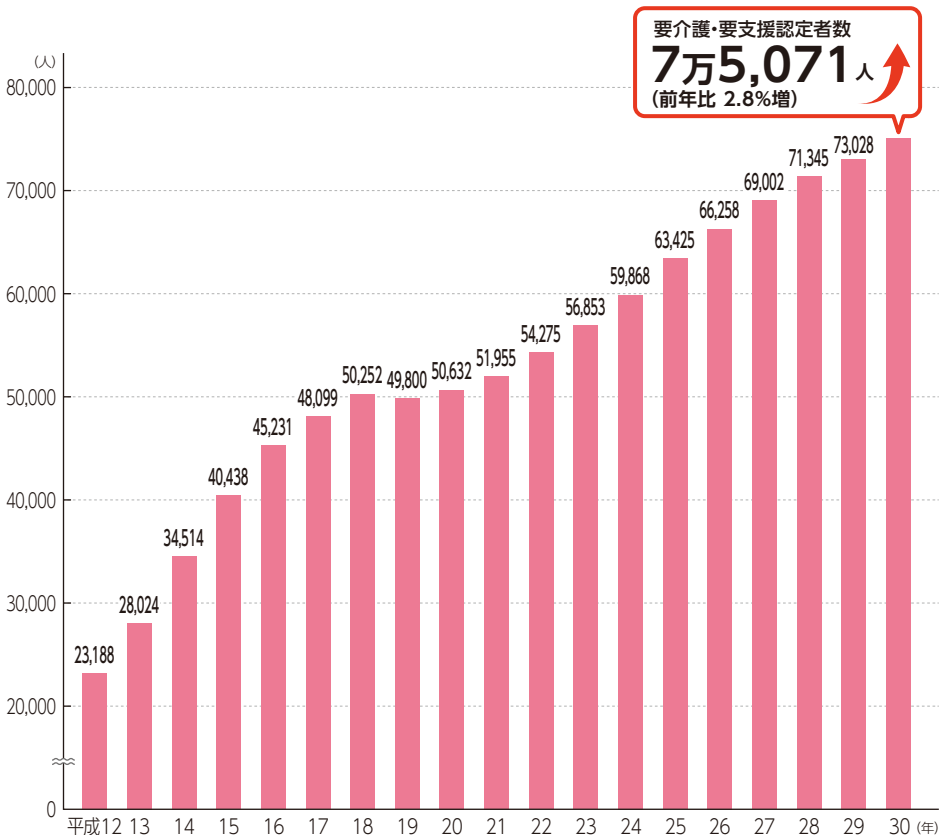
要介護・要支援認定者数は7万5,071人で、前年より2.8%増加

平成30年6月末現在の要介護・要支援認定者数は7万5,071人で、前年と比べて2,043人増加しています。

介護保険の施行状況によると平成30年6月末現在の要介護・要支援認定者数は、7万5,071人で、平成29年から2,043人、2.8%の増加となっています。また、介護保険が始まった平成12年と比べると、5万1,883人増加し3.24倍となっています。認定者のうち要介護2が最も多く、全体の19.0%となっています。

要介護・要支援認定者数の推移 (各年6月末現在)

資料:県介護保険課「介護保険の施行状況」





居宅サービス利用率

居宅サービス利用率は上昇傾向

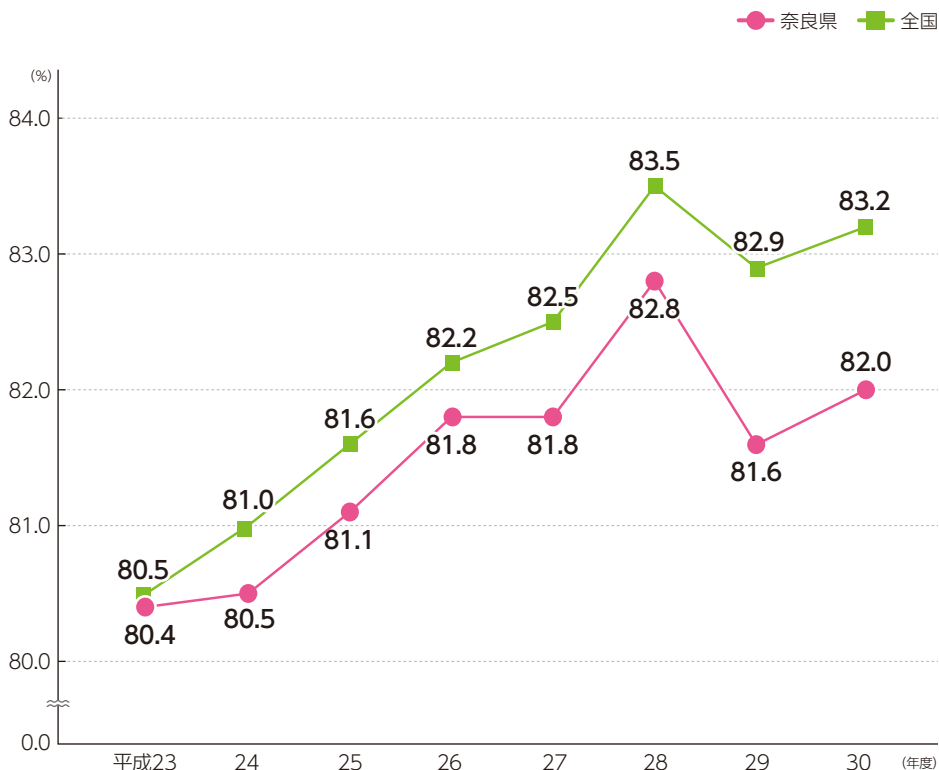
平成30年度末の介護保険サービスに占める居宅サービス利用率は82.0%で、平成23年度末より1.6ポイント上昇していますが、全国平均を下回っています。

介護保険の施行状況によると平成30年度末の居宅サービス利用率は82.0%で、平成23年度末の80.4%と比べると1.6ポイント増加しています。また、全国平均の値は平成23年度末の80.5%から、平成30年度末は83.2%と2.7ポイント増加しています。

- 居宅サービス…介護保険サービスのうち、特別養護老人ホーム等に入所して受ける施設サービス以外のサービスのことです。例えば、在宅で利用する訪問介護サービス等が代表的なサービスです。
- 居宅サービス利用率…介護保険サービス受給者数のうち、居宅サービス受給者数の占める割合

居宅サービス利用率(各年度末現在)

資料:厚生労働省「介護保険事業状況報告」





介護サービスに関する満足度

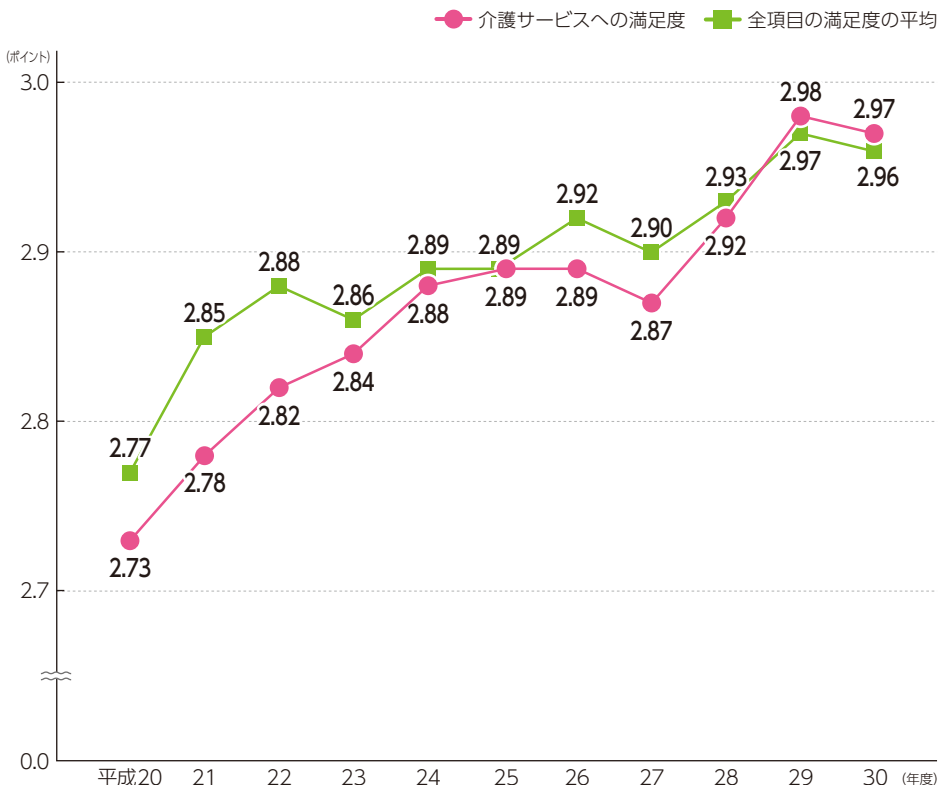
介護サービスに関する満足度は2.97と前年度より減少したが、全項目の満足度の平均を上回る

平成30年度県民アンケート調査によると、高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられることに関して、満足度が2.97で、全項目の満足度の平均の2.96を0.01上回っています。平成20年度の2.73と比べると0.24の増加となっています。

- 満足度…生活に関する各項目についてそれぞれに次の点数を与え、平均をとった値
 - ・十分満たされている(5点) ・かなり満たされている(4点) ・どちらともいえない(3点)
 - ・あまり満たされていない(2点) ・ほとんど満たされていない(1点)
- 全項目の満足度の平均…介護サービスを含め、県民アンケートの全ての質問項目の満足度を平均した値

介護サービスへの満足度

資料:県統計分析課「県民アンケート調査報告書」





児童虐待相談件数

児童虐待相談対応件数は、 1,825件で前年度に比べ344件(23.2%)増加

平成30年度の相談対応件数(県子ども家庭相談センター分)は、1,825件で前年度より344件(23.2%)増加しました。

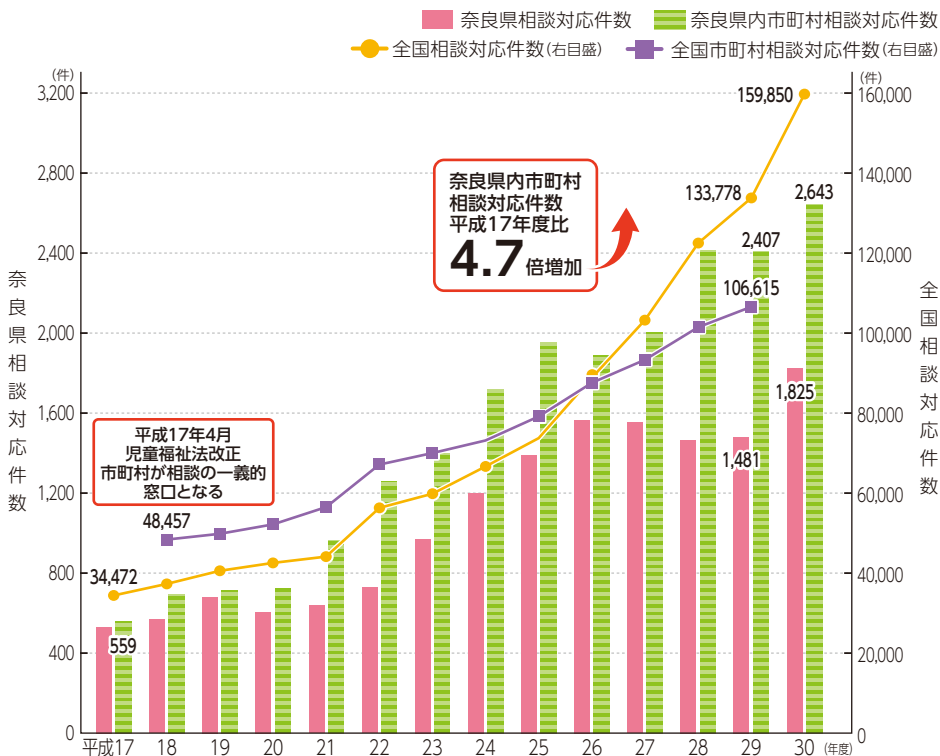
県子ども家庭課のとりまとめによると、平成30年度の児童虐待相談対応件数(県子ども家庭相談センター分)は、1,825件で前年度の1,481件から344件(23.2%)増加しました。平成10年と比べると、1,742件増加し約22.0倍となっています。

また、平成30年度に市町村が対応した児童虐待相談件数は、2,643件で前年度より236件(9.8%)増加しました。

児童福祉法の改正により、市町村が児童虐待の身近な窓口と位置づけられた平成17年度の559件と比べると約4.7倍となっています。

児童虐待相談対応件数の推移

資料:厚生労働省「福祉行政報告例」





児童虐待の種類別・年齢別割合

心理的虐待が50.8% 身体的虐待が24.4%

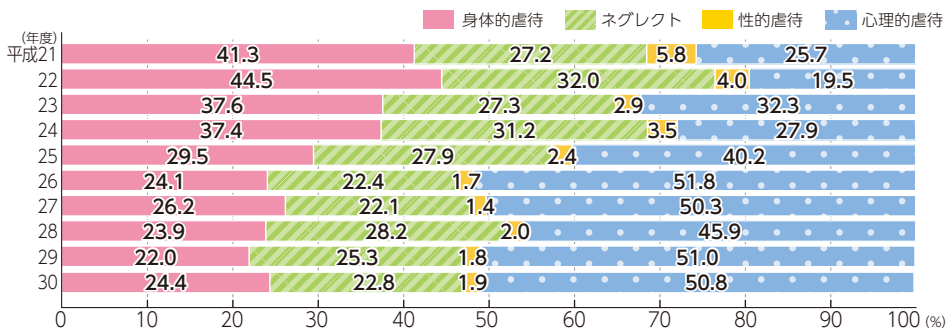
県子ども家庭相談センターで対応した児童虐待相談を種類別にみると、平成30年度では、心理的虐待が50.8%と最も多く、前年度と同様に高い割合を占めています。年齢別では、小学生が最も多く、34.8%となっています。

県子ども家庭相談センターで対応した平成30年度の児童虐待相談を種類別にみると、心理的虐待が50.8%で最も多く、次に身体的虐待が24.4%、ネグレクト(保護の怠慢・拒否)が22.8%となっています。近年において心理的虐待の割合が高い傾向を示している要因として、児童の面前で起きたDVの増加が背景にあると考えられます。

また、年齢別にみると平成30年度は小学生が34.8%と最も多くなっていますが、全体の44.2%は0歳～学齢前児童が占めており、乳幼児における児童虐待の割合が依然として高い水準にあります。

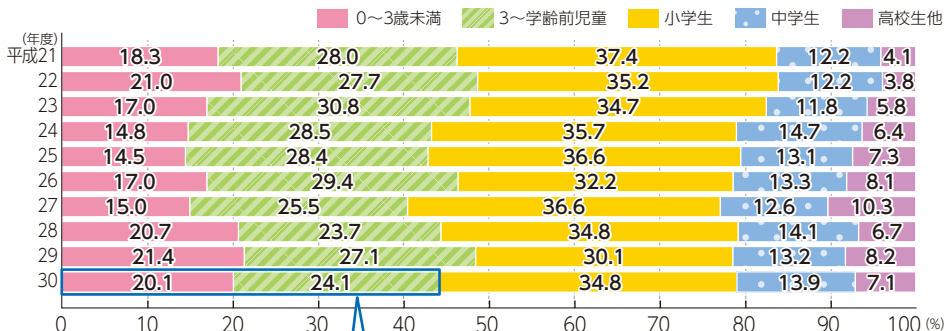
児童虐待の種類別割合の推移

資料:県子ども家庭課



児童虐待の年齢別割合の推移

資料:県子ども家庭課



0～学齢前児童で44.2%



保育所等定員数・利用児童数及び待機児童数

保育所等^(※)の定員は、2万7,607人で前年度より26人増加。保育所等利用児童数は、2万4,828人で前年度より205人増加。待機児童数は、198人で前年度より3人減少

平成31年4月1日現在の保育所等の定員数は、2万7,607人で前年度の2万7,581人から26人増加しました。平成26年度と比べると、2,104人(8.3%)の増加となっています。

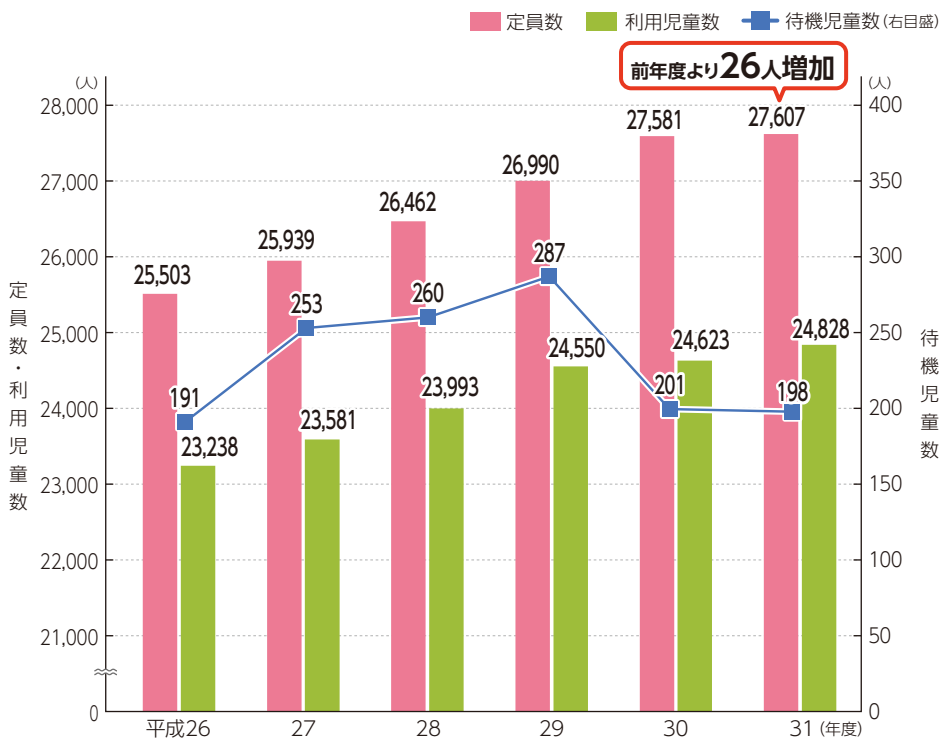
また、保育所等利用児童数は、2万4,828人で前年度の2万4,623人から205人増加しました。平成26年度と比べると、1,590人(6.8%)の増加となっています。

待機児童数は、198人で前年度より3人(1.5%)減少となっています。

※保育所(保育所型認定こども園の保育所機能部分含む)、幼保連携型認定こども園(保育所機能部分のみ)、幼稚園型認定こども園(保育所機能部分のみ)、地域型保育事業

保育所等定員数・利用児童数および待機児童数の推移

資料:県子育て支援課





放課後児童クラブのクラブ数および登録児童数

令和元年5月1日現在の放課後児童クラブの登録児童数は1万6,056人

令和元年5月1日現在の放課後児童クラブの登録児童数は1万6,056人で前年度の1万5,248人から808人増加しました。平成26年度と比べると4,534人の増加となっており、増加傾向にあります。

また、放課後児童クラブ数は364か所で前年度の343か所から21か所増加しました。平成26年度と比べると、96か所の増加となっており、年々増加しています。

放課後児童クラブのクラブ数および登録児童数の推移

資料:県子育て支援課

